

第3回 夏の学校 2001 に 21 大学から参加

大都市で、住宅・まちづくりを学ぶ—木造密集市街地を再生する

8月8日～10日、西山文庫主催の若い世代を対象にした「夏の学校」に、実践女子大学、和歌山大学、県立広島女子大学、神戸大学、都留文科大学、名城大学、姫路工業大学など全国の21の大学から学生・院生が95人参加しました。今年は経済学部・文学部、不動産学科など専門分野の広がりが見られ、HPを見て参加した人、さらに1年4人・2年22人というように低学年の参加がみられるなど参加者の幅も広がりました。また連続参加者も13名いました。

今年のテーマは、「大都市で、住宅・まちづくりを学ぶ—木造密集市街地を再生する」でした。阪神大震災で大量の被害を出した木造密集市街地は大都市になお膨大に存在しています。その現状の問題点と改善の方向を講義によって学ぶだけではなく、最新の改善事例の観察を通して実践的に学び、古くて新しいこの問題に新鮮な提案をできる情熱と意欲を養ってほしいと企画されたものです。

<第一日目 8/8 水>

全体オリエンテーションの後、積水ハウス納得工房の見学をしました。続いて第一線の研究者・プランナー、建築家の講義を聴きました。

■第1講義、間野博先生（県立広島女子大学



教授・元間野まちづくり研究所所長）から「木造密集市街地の形成と再生」と題して、木賃密集地域の発生から現状の衰退に

区整備の基本戦略が提示された。

■第2講義、安原秀先生（建築家・HEXA共同主宰）から「住宅群をつくりかえることでまちを



つくる」と題して、都心居住に対するとりくみについての基本的な考え方、さらに萱島でのネイキッドスクエアの具体的なプ



ロジェクトの紹介がありました。

その後、宿舎へ移動し大交流会となりました。全国各地から参加の100名もの集いは、大学間だけでなくワークショップに向けてのグループ内交流の場ともなりました。

<第二日目 8/9 木>

市の地域施設であるエスポワールにて萱島整備課長の岡本さんから、寝屋川市における市街地の進展と、密集市街地整備のこれまでの経過と実績についてのレクチャーを受けました。

その後、近くの東大利スクエアタウンを見学し、午後には今回のワークショップの対象地区である萱島における事業の進捗状況を4つのルートに分かれて見学しました。その後は各班で課題を設定するために、木陰をみつけては議論をし、再び現地に出向き、住民の方々へのイ

もくじ

第3回 夏の学校 2001 に 21 大学から参加	1
住宅営団シンポジウムの記録	6
岐阜・北方と東雲の集合住宅で考え方こと 高橋晶子	12
<西山先生と私>	
西山先生と私が仕事とする住居づくりまちづくり 藤田邦昭	16
西九条の家 — 生家は西山鉄工所跡地 川口亜稀子	18
<会員日より>	
・利用者に喜ばれる建築 永橋為成	19
・生活問題解決学として住まいを扱う 馬場昌子	19